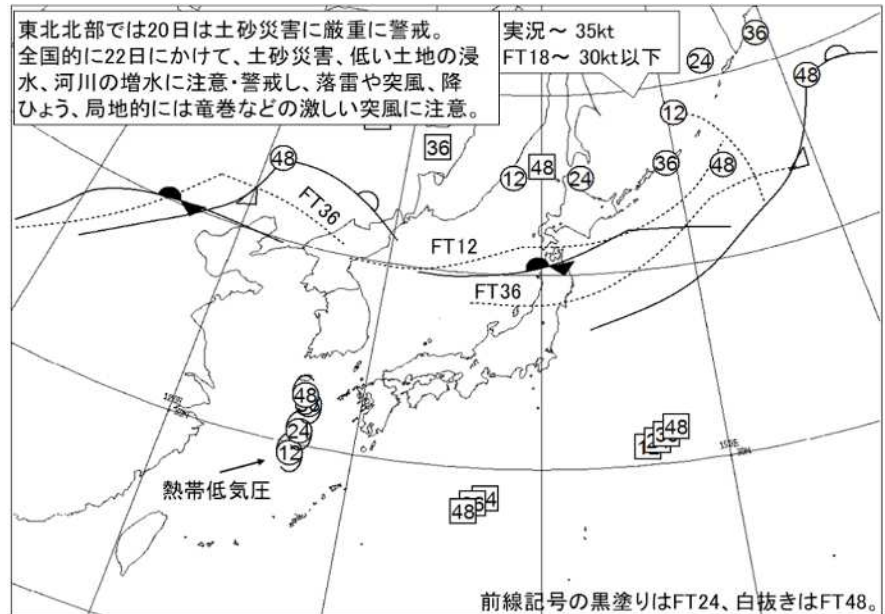


1. 実況上の着目点

- ① 前線が中国東北区から日本海を通過して北海道の東へのびており、前線上のオホーツク海に低気圧があつて東北東進。低気圧や前線に向かう下層暖湿気の影響で、東北北部で激しい雨を解析、雷を検知。秋田県と青森県で土砂災害警戒情報を発表。
- ② 高気圧が小笠原諸島近海に停滞。西～東日本では晴れている所が多い。
- ③ 沖縄の北には熱帯低気圧があつて北北西進。南西諸島では雷を検知。強い雨を解析。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は、21日にはカムチャツカ半島付近へ進む。前線は、20日は津軽海峡付近に停滞し、21日は北～東日本を南下する。また、500hPa 5700m付近のトラフに対応する低気圧が、21日にかけて日本海北部から千島近海に進む。低気圧や前線に向かって下層暖湿気が流入し、北日本では大気の状態が非常に不安定となる。北日本では前線が停滞して総雨量が多くなる他、これまでの大雨で土砂災害発生危険度が高まっている所があり、21日はじめにかけて土砂災害に厳重に警戒し、21日午前中にかけて土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒。落雷や竜巻などの激しい突風に注意。
- ② 22日にかけて、1項②の高気圧は小笠原近海から日本の東に停滞し、日本の南にも高気圧が顕在化して停滞する。北～西日本は22日にかけて、晴れて気温が上昇し、猛暑日となる所がある。熱中症などの健康管理に注意（熱中症警戒アラート参照）。日中の昇温と高気圧の縁を回る下層暖湿気や上空寒気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴い激しい雨や非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。1項③の熱帯低気圧は、21日夜にはチェジュ島付近に北上し、西日本では21日にかけて熱帯低気圧の東側の下層暖湿気が流入することに留意。21日夜は日本の東を南下する前線の影響で東日本で降水が強まるおそれがある事にも留意。全国的に22日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ③ 500hPa 5760m付近のトラフに対応した前線を伴った低気圧が、22日夜には沿海州へ進む。北日本では22日以後は、低気圧や前線の影響により雨が降り、再び大雨となるおそれがある。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項〔量的予報等〕

- ① 雨量(06時からの24時間)：東北150、北海道100mm。
- ② 波浪(明日まで)：高い所(3m以上)はない。
- ③ 高潮(明日まで)：西～北日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「大雨と雷及び突風に関する全般気象情報」を5時頃発表する予定。